

手賀沼が海だった頃

NO. 5

地域の歴史や自然を皆で語ろう

2002・2・24

手賀沼と松ヶ崎城の歴史を考える会会報



不動尊風景図

小倉 博さん (成田山霊光館)

この人にここが聞きたい

松ヶ崎不動尊 絵馬のみどころ・面白さは

当会のテーマの一つでもある松ヶ崎不動尊の絵馬。焼失したものをパソコンで再現したが、風景画あり、武者が闘う場面あり。これらの絵馬の見所は、柏市や千葉県の調査で主任調査員を務めた、成田山霊光館・小倉博さんに聞いた。

——絵馬の意味、面白さを理解できれば、地域の歴史がより楽しくなると思うところがあるのですが「そうですね。この不動尊

風景図には松ヶ崎付近が描かれていますが、いくつも興味深い点がみられます」

ます。「求めに応じて」という意味で、地元の人から依頼されたのでしょうか。日本画家のようですが、著名な人ではないですね」

「右下の手賀沼に、松ヶ崎の方へ向かう何艘もの舟が描かれ、参詣客に見える乗客を載せています。当時、大寺・大社への参詣が盛んでした。江戸から成田山へ陸路で行き、その後、香取・鹿島・息栖の東国三社へ、最後に水路を使い利根川から手賀沼へ入り、松ヶ崎不動尊に寄るというコースがあったとも考えられます」

「その他には

「この絵馬の奉納の時期が不明です

「『文覚上人荒行図』は

「全体の印象から明治だと思えます。また、利根川水系に汽船が就航する、明治十年以前でしょう。汽船が通っていれば、わざわざここまで小さな舟で来ることは少なかつたと思います」

「これは、歌舞伎にもある有名な一場面。北面の武士だった文覚は、友人の妻に懸想して、夫の方を斬るつもりがかばった女性を斬ってしまった。それで出家。紀州・那智の滝で荒行の途中



文覚上人荒行図

「不動尊境内やふもとに店が何軒もあり、繁栄していた様子がよくわかります。茶屋の前には、数本のマネキがかかっています。長い竹に、その店をひいきにしている客が、自分の手ぬぐいをかけるんですね。当時のそうした風俗が見えますし、のぼりには不動尊らしく赤い色で剣が描かれています」

——絵師は等雲の銘です

「当時、地元の絵師もいますが、著名な日本画家や浮世絵師なども描いています。特に千葉県は江戸に近いせいで、浮世絵師が多いですね。等雲自体はわかりませんが、市川市・神明神社に『天の岩戸』などを残した、堤等琳一派ではないでしょうか。三代目がよく絵馬を描きましたので、その弟子あたりかもしれません」

きついた剣の絵馬が全体の六割を占めていました「剣は不動尊が持っているもので煩惱を断ち切ります。竜は倶利伽羅と呼ばれ、竜の巻きついた剣を倶利伽羅剣、倶利伽羅不動といえます。これらは不動様のご利益を願って奉納されたものです」

——松ヶ崎だけでなく、他地域でも絵馬が消失している話を聞きます

「松ヶ崎風景図などは、その地域独特のもの。それだけに多くのことが、文献記録にない庶民の生活や信仰がわかります。歴史遺産の一つと考え、大切にしたいですね」

◆当会開催の絵馬展 示会に三百十五人

松ヶ崎不動尊の絵馬展示会を昨年十月、開催した。新聞などの紹介もあって反響は大きく、来場者は一日でなんと三百十五人。記録は二面に。

◆絵馬プリント、貸し出します

展示会の反響から、当会では絵馬プリント十一点の貸し出しを決定。会員外でも可。詳細は四面。

寄稿

手賀沼・大堀川・大津川の
地形学的解析 (3)

手賀沼湖底の地形・ 地質と周辺の遺構

長沼映夫

前号までの、最も強調した
かったことは、手賀沼はその
地下構造から言って、時代に
よって船に大小があるものの、
決して水運には適していない
という事でした。

しかし、一方では、この地
形的要因(湖底に広いテラス
を持ち、所によつては湖上にも
突出)が、古代の水田として
産業を進展させていた可能性
があります。つまり、この
テラスのある現在の沼南側
は、古墳時代から奈良・平安
末期頃まではこの辺りとして
は進んだ地域で、それを支え
ていたのが、このテラスに開か
れた水田であったでしょう。

このことを裏付けるものと
して、東葛地区北部における
古墳の分布があります。東葛
地区最大の古墳は手賀沼の北
岸(我孫子側)にある水神山

見ると、また沼南方面の研
究が最近緒に就いたばかりで
不明瞭な点もあります。東葛
地区の古墳に詳しい考古学
者によれば、この形式の墓
は沼の南から西の柏方面にか
けて多く、今後の研究により
更に発見される可能性があ
るとのことでした。

古墳(前方後円墳)です。ま
た、数からいっても根戸、我孫
子古墳群等を有する沼の北
(我孫子側)の方が多いため
以上点から見ると、古墳
時代には沼の北側の方が栄え
ていたように見えますが、そ
の年代をみると、我孫子側の
古墳は新しく六世紀以降のも
のがほとんどです。これに対
して沼の南側、つまり沼南側
の古墳は規模こそ我孫子側よ
り劣るものの、古さではずつ
と古く、四世紀末から五世
紀にかけての、関東地方での
高塚式古墳発生の期のももあ
ります。それは沼南町片山に
ある北ノ作一号墳で、形式は
関東地方では珍しい方墳で、
弥生時代に見られる青銅製の
鉄も出土しています。

さらに時代を遡り、関東地
方の古墳の先駆けをなす方形
周溝墓について手賀沼周辺を

表的なものが、湖北高校のと
ころにある日秀西(ひびりに
し)遺跡で、ここは相馬郡衙
の跡とされ、焼けて半分に分
れたものではありませんが、関
東地方では珍しい銀の和同開
珎が出土しています。

また、もう一時代前の弥
生時代について見るならば、
手賀沼周辺は全般的に遺跡
が少ない所ですが、沼南町に
は少ないながらも三カ所あり、
我孫子側には弥生遺跡
は発見されていません。

次に古墳時代に続く、寺
の時代になるとその地方の豪
族によつて氏寺が建設されま
したが、その遺構(通称、廃
寺と呼ばれる)は、東葛地
区では確実なものとしては、
手賀庵寺だけです。ただ、手
賀庵寺も決して、布目瓦葺
きの大きな寺ではなかったよ
うですが、この寺の存在は、
やはり沼南地区が、手賀沼
周辺では先進地域であったこ
とを物語っています。

これに対して我孫子側で
は、古墳時代の終末期を経て
奈良・平安期になると遺
跡が増えてきます。その代

活動 記録

絵馬展示会「よみがえった不
動尊の賑わい」(中央公民館
フェスティバル)

平成十三年十月二十一日

消失した松ヶ崎不動尊の絵
馬のうち、十一点をパソコン
で再現し展示した。一日だけ
の展示会だったが、新聞など
が取り上げてくれたこともあ
り、来場者は約三百十五人
を数えた。顧問・鈴木秀夫さ
んのミニ講演も盛況で、席を
追加したほど。

来場者の一人が、絵馬の奉
納者の子孫だつたという嬉しい
発見もあった。「おじいさんの
奉納した絵馬がよもやあろう
とは。おじいさんの引き合わ
せかな」とのコメント。これか
らも多くの方との出会いがた
くさんあれば・・・

松戸博物館展示会「中世の
東葛飾」見学

平成十三年十一月十日

東葛飾の中世を多角的な
視点から捉えた展示会。当

会で講演をして下さった学芸
員の中山さんの説明に耳を傾
けた。

中世の城跡めぐり「松ヶ崎
城と根戸城」

平成十三年十一月二十五日

茶褐色の木々と色とりどりの
菊の花。晩秋を満喫しながら、
根戸城、北星神社、松ヶ
崎城をめぐる。参加者は十
九人。根戸城では手賀沼トラ
スト会の加太肇江さんから話
をうかがいながら、城址を見
学した。「近くに住んでいます
が、全く知らなかった。こん
な近くに、城跡があつたんで
すね」と参加者のお一人。



*役員会

平成十三年十
月十三日・十一月十日・十

二月七日・平成十四年一月
十四日・二月二十四日

地道な調査が 続いています

房総史料調査会

人家などに残る古文書の調査を、ボランティアで続けている会をご存知ですか。昨年十二月八日、君津市郡区で行われた房総史料調査会の調査におじゃました。調査員は大学や高校教員、博物館学芸員、大学院生と

私の田舎は四国の徳島ですが、東葛に住んでもう十五年になります。四国に比べると東葛の自然は穏やかです。たとえば、関東に時々やってくる台風なんて四国の台風に比べると子供みたくないものです。東葛に住んでいますと、自然の威力をほとんど感じませんが、国内外を旅行して自然に向かうとき、その大きさがや激しさに圧倒されるときがあります。この自然を現在のハイテクでうまく利用すれば、エネルギーが大量に取れて石油などの資源節約になるのではないかと思われる人も多いと思います。

千葉・宇都宮・学習院大学の学生の二十二人。まずは、木箱やダンボールの中の古文書の保存状態を、ビデオカメラ、カメラ、スケッチで記録する。次にどのような種類の文書なのかを一点ずつ確認して目録を作成。一九八六年に会が設立されて以来、年四回のこうした調査がこつこつと続けられ、県や地域史の編さん・研究に役立てられてきた。

千葉県では県史編さんも進んでいる。「市町村によっては、それぞれのお宅にまだたくさんのお古文書が眠っている可能性があります。それらから各地域の歴史像が豊かになることも多いですね」と県史専門員・同会会員の千葉大助教授・後藤雅知さん。



古文書の保存状態をビデオカメラで記録



阿部 寛治

ところが、これが意外と思いがちが多いのです。私は大学の工学系に在籍していたこともあって、この自然の威力を数量化して本を書いたりしま

すので、その一端をお知らせしましょう。いくらでも例があります。たとえば日本の長い海岸にはどこに行っても

かなりな波が海岸に押し寄せています。この波のエネルギーをすべて電力に変換すると、どうなるでしょうか。日本は静かな海に囲まれることになりましたが、得られる電力は少量として石油資源節約にはほとんどなりません。海についていって言えば、日本列島南方には世界有数の海流、黒潮が流れています。この海流の中に発電タービンをつけて発電するとうなるか。黒潮全部利用しても原発一基分の電力しか得られません（日本では五十基の原発が稼動中。逆に言いますと原発がいかに高密度のエネルギー源であることなのですが）。

自然エネルギーで頼りになるのは二つしかありません。風と太陽の光です。面白いのは、この二人の優等生はともに派手でなく、かつ身近にいます。ともに自家発電で各家庭の電力をまかなえます。風力発電は騒音を伴いますので人口密度の高い日本では多くは望めませんが、太陽光発電は救世主になりえます。またコストが高いのですが、多くの家庭の屋根にソーラーパネルを設置しますとコストが下がり、急速に普及する可能性大です。（帝京平成大学教授、東大名誉教授）

域 北 柏 自然ウオッチング NO. 2 当会会員 塩川智英

柏の市内には湧水が沢山あります。平成十一年の湧水地調査で、少しでも浸っている所を含めると六十四カ所見つけられました。その内多量に流出している所は十六カ所、逆に十年前には流出していたが現在は消滅してしまったものは十二カ所。柏北域については、湧水は雑木林の残る里山斜面の間や谷津の入り口に散在し、大堀川に注ぐ流れの一部斜

たい木立やシラカシ、イヌシデなどが、年数を経たたずまを見えています。その林床は人手が入っていないようにドクダミやササが密集しているけれど、ホウチャクソウやウラシマソウ、シロタモヤヤブツケイの若木、ガマズミの幼木が散見され、かつては多くの生物の生命を育んでいた豊かな雑木林であったのでしよう。

斜面の住人たちは、この林はウラシマソウに十分な栄養物を提供していたのでしよう。この花は芽生えて数年間、または栄養不足の状態におくと、すぐ雌株に性転換してしまう性質があるのです。

そしてこの花は蜜を作れないものですから、匂いでハエの仲間を呼び寄せ、雌花では虫の出口があるのに、雌には出口がなく、花粉を体につけてきたハエは雌花の中を歩き回り一生を終えるのです。昆虫の命と引き換えに自らの命を次の世代に引き継いでいる。身につまされますね。



ウラシマソウの雌花

会からのお知らせ

4月総会

花野井の神社等

を見学します

春はもうすぐそこまで。当会でも新しいイベントを企画中。とりあえず決まったイベントの日は次の通りです（詳細は後日がかかります）。

平成十三年度総会▽四月七日（日）午後一時～▽柏市

花野井の会場にて▽花野井

の神社や史跡をめぐるミニ

イベントも一緒に。

千葉歴史学会での報告 顧問・鈴木英夫さんが「松ヶ崎

城の保存と活用」をテーマに

当会の活動を報告。一般の方

も参加可。▽五月十二日

（日）▽千葉大内けやき会館

再現された絵馬

貸し出します

松ヶ崎不動尊に奉納されて

いた絵馬のうち、再現した十

一点を貸し出すことにしまし

た。会員であるなしにかかわ

らず貸し出します。イベント

などにご利用ください。内容

☆☆会員募集☆☆

地域の歴史や自然に興味のある方、当会で一緒に活動しませんか。年会費は2000円。申し込みは事務局まで。▽事務局 北絨子〒277-0835 柏市松ヶ崎415-5、1-206 Ⅱ・FAX04-7131-8879 ▽会計 松平信子 Ⅱ7133-6438 ▽会費振込先 千葉銀行柏支店 (NO-008) 普通預金3461475 (手賀沼と松ヶ崎城の歴史を考える会 伊江有可里)

☆☆原稿入力して下さる方募集☆☆

会報のお手伝いをしてくださいませんか。パソコンワープロソフトの基本的なキーボード操作ができれば十分。原稿をメールで送受信しますので、パソコンの練習をと思っていられつる方でもOK。

- ① 不動尊風景図
- ② 女拝み図 (額入り)
- ③ 藤原秀郷・平将門合戦図 (額入り)
- ④ 文覚上人荒行図 (額入り)
- ⑤ 倶利伽羅電王剣図二点 (額入り)
- ⑥ 剣図四点 (額入り)

絵馬プリントは額入り、簡単な説明もついている



- ⑦ 松ヶ崎城イラスト (額入り)
- ⑧ 「絵馬とは」「松ヶ崎とは」「松ヶ崎城とは」それぞれ四十五センチ×六十センチのボードに張った説明文

情報 広場

「手のひらのメッセージ」(田中香穂子・美津穂著) 発達障害の一つと考えられている自閉症の田中美津穂さんと母・香穂子さんが、美津穂さん誕生からの十二年間をつづつたトキメキメタリー。「筆談」を通し自ら語っているために、自閉症児の心理がよく分かる。また、表情・行動などから子供を理解しようとした粘り強い香穂子さんの姿勢は、障害のあるなしに関わらず、子育ての大切な一面を教えてくれる。四六版二百四十七ページ、千四百円▽たけしま出版04・7153・4512

最低限暗記するものが数百あり、この二百字を覚えようと、五〜七割は読めるようになるといふ。頻繁に使用される言いまわしや熟語、いくつもあらずしパターンのうち記憶すべきものはどれかなどの解説も付記。初心者必携。△五版二百一十一ページ、千八百円▽柏書房03・3947・8251

「水の道サシバの道 利根運河を考える」(新保國弘著) 東葛地域自然文化研究所所長の新保さんが、自然と生き物の二つを柱にしながら、利根運河をテーマに書き下ろした。利根運河の歴史、生態環境、水質や水量の変遷から、運河開削を始めた広瀬誠一郎や人見寧の話にも及ぶ非常に幅広い内容。四六版二百四十一ページ、二千円▽嵩書房出版04・7158・0035

会員だより

勝野正明

会社を六十歳で定年退職した三年前から、全く職場の異なる東京の裁判所に通勤しております。多重債務者が抱える多額の借金の返済について、調停や和解が主な仕事です。調停等の申請が毎年増えており、ボランティアの仕事ですが、とても苦勞しています。今年は、暖かくなったら、生まれ故郷の中国瀋陽市(旧奉天市)に行く予定です。女房と一緒に。名物の餃子も食べてきます。

柏木芳枝

白井に住んで二十年。郷土史を教わってみると何も無いと思っていた白井にも派手ではないけれど静かに受け継がれてきた歴史や文化があります。中世の城跡が遺構や伝承によって五カ所確認されていて、白井も手賀沼を囲む地域の一つとして柏地域と歴史のなものを共有している部分があり、手賀沼を中心とした地域の生活なども立体的にとらえられるよう学びたいです。

会報編集・作成
浦久淳子 Ⅱ・FAX 04・7155・2351